

平成26年度 第2回 公共事業の再評価結果 一覧表

| 事業名 | | 箇所名 | | 事業概要 | | | | 河川整備委員会 | | 河川整備委員会の 審議結果を踏まえた対応方針 |
|-----|--------------------|----------------------|--------------------------------------|--------------|--------------------|------------------------------|---|-------------|------------------------------------|--|
| 種別 | 補助 事業名 | 河川・ 道路名等 | 事業区間 | 整備計画 策定年度 | 全体 事業費 (百万円) | 総投資 額 平成26年度末 (百万円) | 事業概要 進捗状況等 | 対応方針 (案) | 審議結果及び意見 | |
| 河川 | 大和川(初瀬川) 河川改修事業 | 一級河川 大和川 (初瀬川) | 桜井市大泉～ 三輪 | 平成17 年度 | 2,500 | 550 | 事業延長 L=1,550m 進捗率22% | 継続 | 事業の「継続」が妥当と する。 【奈良県河川整備委員会】 | 対応方針：継続 理由：桜井市街地の浸水被害を軽減す る。こがら、現事業計画を基と 断る。備する必要性があるが 断る。さため、事業継続が妥 当である。 |
| | 布留川北流 河川改修事業 | 一級河川 布留川北流 | 天理市東井戸 堂町～守目堂 町 | 平成17 年度 | 3,000 | 480 | 事業延長 L=900m 進捗率16% | 継続 | 事業の「継続」が妥当と する。 【奈良県河川整備委員会】 | 対応方針：継続 理由：天理市街地の浸水被害を軽減す る。こがら、現事業計画を基と 断る。備する必要性があるが 断る。さため、事業継続が妥 当である。 |
| | 布留川南流 河川改修事業 | 一級河川 布留川南流 | 天理市吉田町 天理市九条町 ～田町 | 平成17 年度 | 1,400 | 800 | 事業延長 L=1,070m (上流900m + 下流170m) 進捗率57% | 継続 | 事業の「継続」が妥当と する。 【奈良県河川整備委員会】 | 対応方針：継続 理由：天理市街地南部の浸水被害を軽減 する。こがら、現事業計画を基と 断る。備する必要性があるが 断る。さため、事業継続が妥 当である。 |
| | 寺川 河川改修事業 | 一級河川 寺川 | 橿原市東竹田 町～桜井市上 之庄 | 平成17 年度 | 5,500 | 1,340 | 事業延長 L=2,650m 進捗率24% | 継続 | 事業の「継続」が妥当と する。 【奈良県河川整備委員会】 | 対応方針：継続 理由：桜井市街地の浸水被害を軽減す る。こがら、現事業計画を基と 断る。備する必要性があるが 断る。さため、事業継続が妥 当である。 |
| | 飛鳥川 河川改修事業 | 一級河川 飛鳥川 | 三宅町小柳～ 但馬 橿原市兵部～ 明日香村栢森 | 平成17 年度 | 3,614 | 758 | 事業延長 L=11,700m (上流9,800m + 下流1,900m) 進捗率21% | 継続 | 事業の「継続」が妥当と する。 【奈良県河川整備委員会】 | 対応方針：継続 理由：橿原市街地の日香村栢森地区周 辺の歴史と景観に調和した水辺空 間の創出が可能となることから、 現事業計画に基づき、整備する 必要性があると判断されるため、 事業継続が妥当である。 |
| | 米川 河川改修事業 | 一級河川 米川 | 橿原市木原町 ～出合町 | 平成17 年度 | 3,200 | 580 | 事業延長 L=1,900m 進捗率18% | 継続 | 事業の「継続」が妥当と する。 【奈良県河川整備委員会】 | 対応方針：継続 理由：橿原市街地の浸水被害を軽減す る。こがら、現事業計画を基と 断る。備する必要性があるが 断る。さため、事業継続が妥 当である。 |
| | 新川 河川改修事業 | 一級河川 新川 | 三宅町小柳～ 伴堂 | 平成21 年度 | 1,020 | 70 | 事業延長 L=1,340m 進捗率7% | 継続 | 事業の「継続」が妥当と する。 【奈良県河川整備委員会】 | 対応方針：継続 理由：三宅町内の浸水被害を軽減す る。こがら、現事業計画に基づき、 断る。備する必要性があると判断 断る。さため、事業継続が妥 当である。 |